2019 秋季企画展　第二展示室

「中部大学のはじまりと今」

学園創立 80 周年記念に際した本展の第二展示室では、春日井キャンパスの建物の建築と緑化活動に関する歴史について、次のように大きく 3 つの区分にして再考してみることにした。

まず、校地取得から主要な建物を計画的に建設していった 1960 年代。

次に、工学部の主要な建物に対して、文系の学部の新設や学生人口の増加を見込み、学生生活をより豊かにするキャンパスプラザ等の共通空間の充実を図っていった 1980 年代。

さらに、学部の増設や研究施設の設置の一方で、建物と自然を融合させるために、庭園や池泉を整備し、緑豊かなキャンパスの景観を整えていった 1990 年代から現在まで、という展開を概観する。

本学が誇るべき、現在の美しいキャンパスがどのように誕生してきたか、その誕生と経過を資料と写真をもとに当時の息吹を少しでも感じ取ることのできることを目的として、この展示空間を設けることにした。

中部大学 春日井キャンパスの建築整備のうち、主な流れ

１）主要棟の建設（建物の軸線の統一）：開学から約 10 年間

1960 年（昭和 35～36 年）	春日井の校地取得
1961～1963 年（昭和 37～39 年）	大学開学まで・第一期工事・工学部
1964～1969 年（昭和 40～44 年）	第二期工事・建築委員会発足・第三期工事

２）建物を相互に組み合わせ、動線を意識した景観作り：1970 年代から 1980 年代

1970～1974 年（昭和 45～49 年）	新たなキャンパス計画の構想
1975～1979 年（昭和 50～54 年）	キャンパス・コア計画・国際関係学部
1980～1984 年（昭和 55～59 年）	中部工業大学から中部大学へ・経営情報学部

３）建物と自然地形を活かした緑化環境の整備：1990 年代から現在

1985～1989 年（昭和 60～平成 1 年）	中部大学女子短期大学・書院・茶室の整備
1990～1994 年（平成 2～平成 6 年）	工学部一期・二期工事・大学 30 周年
1995～1999 年（平成 7～平成 11 年）	人文学部・研究環境の整備
2000～2004 年（平成 12～平成 16 年）	応用生物学部・大学 40 周年
2005～2009 年（平成 17～平成 21 年）	生命健康科学部・現代教育学部
2010～2014 年（平成 21～平成 26 年）	図書館二回目の増築工事・大学 50 周年
2015～2019 年（平成 27～令和 1 年）	保育所・庭園・池泉各所の修繕・整備